

Reh ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第180号

Nanae Historical
Museum Collection

ななえ古写真物語 VOL.180

学林という言葉

峠下中学校植林風景

昭和39年

峠下地区



当館には、未整理のままとなっている写真資料がいまだ大量に存在する。見えないフリをしたい気持ちと、少しずつでも整理しなくてはという気持ちがせめぎ合っていたのだが、ようやく箱から出したうちの一枚が上の写真である。何やら山の中腹で、学生服や学生帽をかぶった人物たちが大勢でロープを引いている。幸いにも「学林植林 S39.11.10」という裏書があり、年代と何をしている様子かはわかった。場所についても、平野を挟んだ向こう側の山の稜線から、峠下地区であることは明白で、生徒たちの装いから総合して、峠下中学校の活動の一角であると考えた。

最近あまり耳にする機会が減ってしまった「学校林」だが、簡単にいうと学校の基本財産形成や生徒の環境教育、体験活動を促すことを目的に学校が保有する森林のことである。日本では、明治時代から愛郷心や公共心を養うという理由もあり、文部省が積極的に運動展開を図っていたのだが、戦後となる昭和24年からは、国土復興運動の一環として学校林運動が復活した。以降、環境緑化運動としても発展したことを考えると、環境教育の必要性が叫ばれる現代こそ、こういった学校林を見直す必要がありそうだ。

さて、平成2年に刊行された『峠下中学校四十三年の歷程 峠』によると「昭和25年4月学校林に落葉苗木一五〇〇本植樹。」という記載が見られる。昭和22年に開校し、平成2年に惜しまれつつ閉校することになった峠下中学校の沿革に、はじめて「学校林」という言葉が記されたのが、この昭和25年なのは、先述の国土復興運動の影響もあるのだろう。以降、学校林の補植や手入れについて、毎年のように記載があり、上の写真も、この冊子に使用されたものだという事がわかった。

たしか5年ほど前、峠下の箱館戦争戦死者墓碑群の整備をしていた時に、隣接する畑を営んでいる方に、学林の伐採が進んだせいで、水が流れてきて、ここの畑に水が溜まってしまおうといわれ、その惨状を確認した。その時、久しぶりに学林という言葉を知ったが、実際にどのように活用していたのかは知らなかった。今回、この写真を含めたいくつかの写真や文献を読むことで、その様子を知ることができたのは勉強となった。

現在、全国的に学校林は減少したが、環境教育の観点から見直す自治体もあるそうだ。いずれにせよ、この写真を見て、集団で何かを成すことの必要性を感じずにはいられない。

1月の予定

19日 いろいろな石を探せ！

11月のジュニア探検クラブは石探し。まずはロビーで展示中の鉱石や道南各地で採集した砂を顕微鏡で見て、石と砂の違いについて考えました。その後は、歴史館の軒下にある石の中からお気に入りを見つけたり、車で鳴川や大川まで足を延ばし、川に入って転がっている石を採集するなど、あちこちで石を探しました。

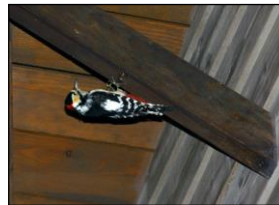
自分たちの見つけた石が、何という名の石かを調べたりという一日。石探しから環境を考える時間になったのかなあ。



1	日	年末年始休館日
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	
11	水	夜の博物館 第2夜
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	企画展最終日
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	ピチャリ第181号発行
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	ジュニア探検クラブ
29	日	
30	月	
31	火	

常設展示室のちょっと変わった見方。

「常設展示室のどこかに鳥が5羽います。皆さん探してみてください」と見学に来た小学生に問題を出すことがあります。調べ学習そっちのけで、夢中になって探し回ります。ヒントは、茅葺民家、牛舎、木。この問題、すぐに3羽は見つかりますが、残りの2羽は、大人でもなかなか見つけられません。どうしてこんなところに？のところにあります。来館の際には、そんなところにも注目して、探してみてください。鳥の名前も覚えると更に良いですね。



企画展での「声」から

開催中の企画展『手仕事のぬくもり』では、蓑（みの）や草鞋、草履、手袋や工芸品など、人の手を介し、自然素材で作られたものを主に展示しています。蓑（みの）をじっくりとご覧になっていたお客さまに、子どもの頃、ふかふかの暖かいワラの布団に寝たことがあると、思い出話をお聞きました。小さな弟は、あまりにも気持ちが良いと、粗相をしてしまったこともあるのよ、と。モノにはストーリーがあると言ったことがわかった時間でした。



※12/31～1/5は休館日となります

天気とことわざ

「駒ヶ岳にボトかかればアイとなる」。上磯地区で言われていたことわざ。駒ヶ岳に雲がかかると北風になり、天気は崩れるそうです。



編集後記 ~tawagoto~

読書を覚えたことは良かった。と古い友人から近況が届いた。その一冊に知らない世界があって、読んでいる時はそこで生きられる、と。じわじわと心に沁みた。読書の楽しみを伝えるには、まずは自分が多くの読書体験をと今年は仕事に関する本やエッセイ、小説など年間100冊を読破する目標を立てた。結果は今のところ87冊。目標に達することが難しくても、活字の記憶は自分の中に残る。そこも含めて伝えていけたらと思う。

Pichari ~ピチャリ~

第180号

令和4年12月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp